

経営支援を行うすべての方へ

経営支援者向け

調査事業コンテンツのご案内

ニーズを把握し効果を最大化する HAL の調査・分析サービス

詳細についてはお気軽にお問い合わせください。

御見積書もご要望に応じて作成いたします。

株式会社エイチ・エーエル 営業企画事業部

TEL: 050-8883-1919 FAX: 050-8883-1920

e-mail:hal-eigyou@hal-j.co.jp



伴走支援の力を、次のステージへ

地域の中小企業・小規模事業者を支える各地の支援機関の職員様は、まさに“地域経済の伴走者”です。株式会社エイチ・エーエルでは、これまで全国の支援機関の皆さまと共に、経営支援サービスの実行支援や伴走型支援の仕組みづくりに取り組んでまいりました。時代が大きく変化する今、伴走支援を次のステージへ進めるためには、支援者自身が地域の現状や事業者の課題を把握し、根拠のある支援につなげる力がより一層求められています。

ご案内する調査事業コンテンツは、地域の姿を“見える化”するだけでなく、職員の皆さまが「考え、読み解き、提案へつなげる」力を高めることを目的としています。

地域の未来を描くための“基礎データ”づくり

地域の未来を描くためには、まず現状を正しく知り、把握することが欠かせません。

経済動向調査を実施することで、市区町村単位での景況感や課題が可視化でき、地域における支援ニーズを正確に捉えることが可能となります。これにより、支援者は“重点化された伴走支援”を行いやすくなり、支援効果の高い取り組みへとつなげることができます。

さらに、事業者アンケートを通じて経営課題を明確にすることで、必要な支援の選択と集中が進み、限られた経営資源をより効果的に活用できるようになります。

また、需要動向調査では、商品評価や消費者ニーズを把握することで、事業者の販路開拓や商品改善に直結する実践的なデータが得られ、今後の戦略立案の基礎資料としてご活用いただけます。

目 次

経済動向調査

経済動向調査の取組み…P2

経済動向調査ご支援メニュー…P3

RESASレポート作成ご支援メニュー…P4

経営支援に有効なDXツールの基礎

需要動向調査(店頭用・展示会用)…P5

フレキシブルオフィス「WeWork」需要動向調査…P6

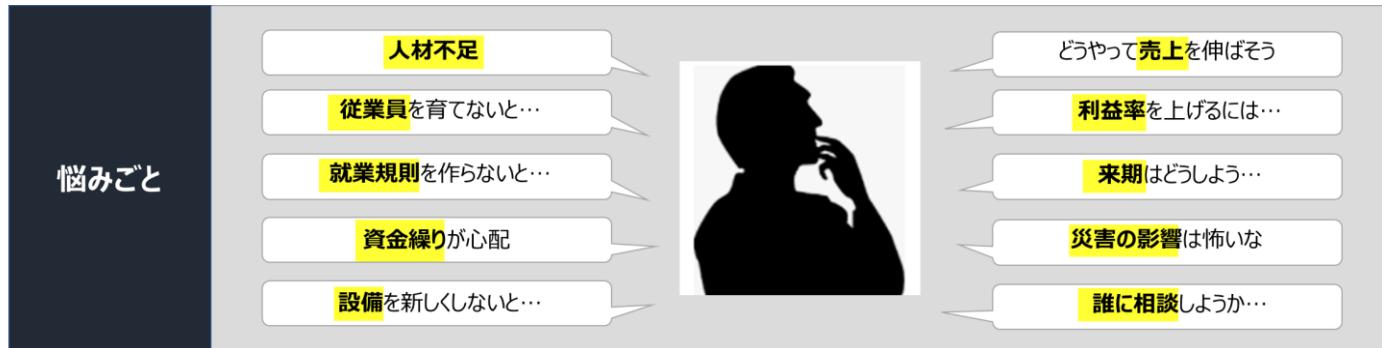
～地域経済と事業者の現状を把握～

経済動向アンケート調査

伴走支援の質を高める地域事業者の実態を可視化した支援の出発点

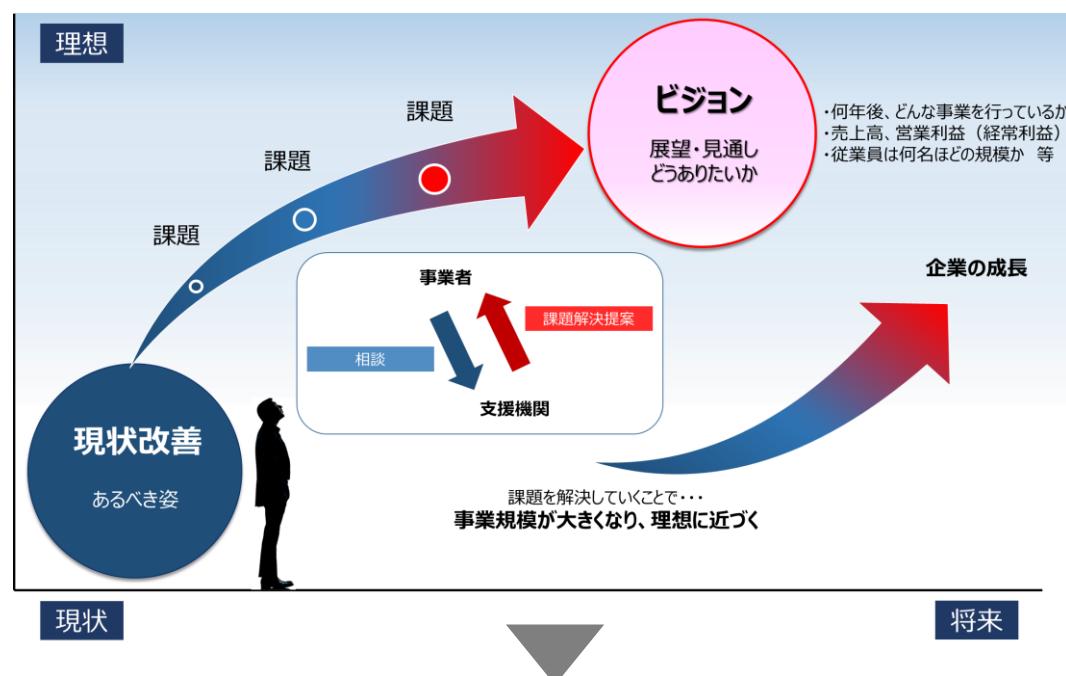
昨今の経営環境は、原材料費や人件費の高騰、円安やエネルギー価格の上昇に加え、人口減少や人手不足の深刻化など、中小企業・小規模事業者を取り巻く状況が一層厳しさを増しております。こうした変化に対応するためには、地域の課題を客観的なデータとして捉え、伴走支援に活かすことが不可欠です。そのため、地域の実情を的確に把握し、事業者支援の質を高める「経済動向調査」は重要な役割を担っています。

～まずは地域の事業者の課題を把握しましょう～



課題を把握した事業者支援の検討材料

地域の事業者の課題を把握することで、支援の施策検討や個別の専門家派遣も実施することができ、地域事業者の伴走支援にお役立ていただけます。



＜課題に合わせて支援メニューの検討＞



～地域経済と事業者の現状を把握～

経済動向アンケート調査

アンケート票の企画・設計から報告書の作成までをワンストップ支援

本調査サービスでは、業種別・規模別の現状把握に加え、事業者の経営課題やニーズを可視化し、伴走支援メニューの根拠として活用できる分析をご提供します。弊社では、調査票の設計から集計・報告書作成まで一貫して支援し、個社支援・面的支援の重点化に役立つ“現場で使える情報”を整備しています。地域の実態に基づく効果的な伴走支援の強化に、ぜひ本調査をご活用ください。

■オリジナルアンケートの作成支援

設問項目例

- 01 事業者の経営課題
 - 02 IT技術の利活用
 - 03 人材雇用・賃上げの状況
 - 04 外国人労働者の雇用状況
 - 05 事業承継問題
 - 06 事業継続力強化計画の策定
 - 07 国・県・市の支援策の利用状況 等
- ※オリジナルで調査項目を策定します



■調査の流れ

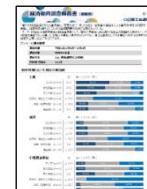
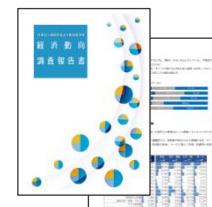
設問項目の打合せ【支援機関様・HAL】

アンケートの実施【支援機関様】

記入済アンケート用紙の入力【HAL】

内容の分析・報告書作成【HAL】

報告書(40P～) 概要版(4～6P)



オススメ
コンテンツ

伴走支援向上のための地域経済分析研修

地域の事業者支援を進めるうえで、経済動向調査は“現場の声を可視化する”大切な資料です。

本研修では、地域課題を適切に把握し、伴走支援に活かすために、調査結果をどのように読み取り、個社支援やセミナー企画、伴走支援の対話へつなげていくかをわかりやすく整理します。明日からの支援に活かせる“データの使い方”を解説します。

■経済動向調査の役割を理解する

- ・経営発達支援計画における位置づけ
- ・事業者支援でデータが必要な理由
～「感覚」から「根拠ある支援」への転換～

■調査レポートの読み方の基本

- ・設問構造の理解(業種別・規模別・経営課題)・
年度比較・他地域比較で見るポイント
- ・データが示す“現場の変化”的つかみ方

■データから見える地域事業者の課題整理

- ・原材料高騰・人手不足・価格転嫁・円安・
エネルギー価格と地域への影響
- ・事業者の声を“数字で裏づける”視点

■伴走支援につなげる読み解きワーク

- ・「調査結果 → 支援テーマ」に落とす演習

～地域経済と事業者の現状を把握～

経済動向アンケート調査

地域の“変化”と“兆し”をつかむRESASレポート

地域の経済状況をマクロの視点で分析し、支援の方向性を定めるために役立つのが「RESASレポート」サービスです。国が提供するデータプラットフォーム「RESAS」から、市区町村単位の人口推移、事業者数、産業構造、小売・製造の動向などを抽出し、分かりやすく一冊にまとめます。

セミナー資料や個別相談での活用はもちろん、ホームページでの公表資料としても利用でき、地域の現状を“見える化”するツールとしてご活用いただけます。



活用方法

- ・ホームページで公表
- ・管内の事業者に配布
- ・地域の経済動向分析の基礎資料として活用
- ・事業計画策定時の資料として活用

掲載内容(例)

人口

- 01 年齢別人口推移
- 02 人口ピラミッド
- 03 滞在人口、流入・流出者数

産業構造

- 04 事業者数(事業者単位)大分類
- 05 事業者数の推移
- 06 従業者数
- 07 従業者数の推移
- 08 地域内産業の構成割合

小売業・卸売業

- 09 年間商品販売額の推移
- 10 事業者数(小売業・卸売業)の推移

製造業

- 11 製造品出荷額等の推移
- 12 事業者数(主要製造業)の推移

地域経済循環

- 13 地域経済循環図
- 14 付加価値額の構造分析

観光

- 15 居住都道府県別の延べ宿泊者数
- 16 属性別の延べ宿泊者数(総数)の推移

**事業者の経営分析・事業計画策定・販売促進支援時等の
支援ツールとしてご活用ください!**



個別相談・専門家派遣時の検討資料として



セミナーの配布資料として

～市場ニーズを把握する～

需要動向アンケート調査

アンケート票の企画・設計から報告書の作成までをワンストップでご支援

昨今、物価高騰等もあり、常に変化する消費者ニーズを理解しお客様の声を反映することは、顧客満足度向上、製品やサービスの改良、新商品のアイデア獲得にもつながり、持続的な成長を実現していくために重要な取り組みです。調査内容を分析した結果を基に、競合他社との差別化を図り、顧客に喜ばれる商品やサービスを生み出すことができます。



■展示会／商談会／イベントを活用した調査も可能！

実際の来場者やバイヤーとの対話を通じて、商品の評価ポイント、価格の受け止め方、改善要望など“生の声”を直接収集できます。また、試作品のテスト販売やプロトタイプ展示を行うことで購入意欲や顧客層の反応を把握でき、新商品の開発や販路開拓に役立つ具体的な情報が得られます。

リアルな場での調査は、机上では得られない実践的データを集められるため、事業者の次の一步につながる貴重な調査手法です。

セミナー・
個別相談会と
併用した実施が
人気！



実施回	支援項目	支援内容と効果
第1回	展示会出展準備セミナー	展示会出展で成果を高くするための基礎知識をつける
第2回	個別相談会	出展企業個社毎に個別のアドバイスを行い、出展効果を高める
第3回	現地支援	展示会イベント前日当日に直接準備とアドバイスを行い、興味→交渉へと結びつける

回答率アップ！QRアンケートカード調査～消費者ニーズの把握とリピーター獲得に繋がる～

店頭来店者向けに、手軽に回答できるQRコード付きカードを活用し、消費者ニーズの把握だけでなく、特典付きカードによるリピーター獲得にもつながります。アンケート設計から集計・報告書作成までワンストップでご支援し、事業者の販売戦略に直結する“現場の声”を分かりやすく可視化します。



※本サービスについては、WEB回答のみとなります。

～市場ニーズを把握する～

需要動向アンケート調査

フレキシブルオフィス「WeWork」共用エリアを活用！

若年層～中堅層のビジネスパーソンが集まるフレキシブルオフィス「WeWork」で実施する需要動向調査です。共用エリアに商品を陳列し、実際に手に取った方へアンケートを行うことで、リアルな評価や改良ポイントを収集できます。



©WeWork



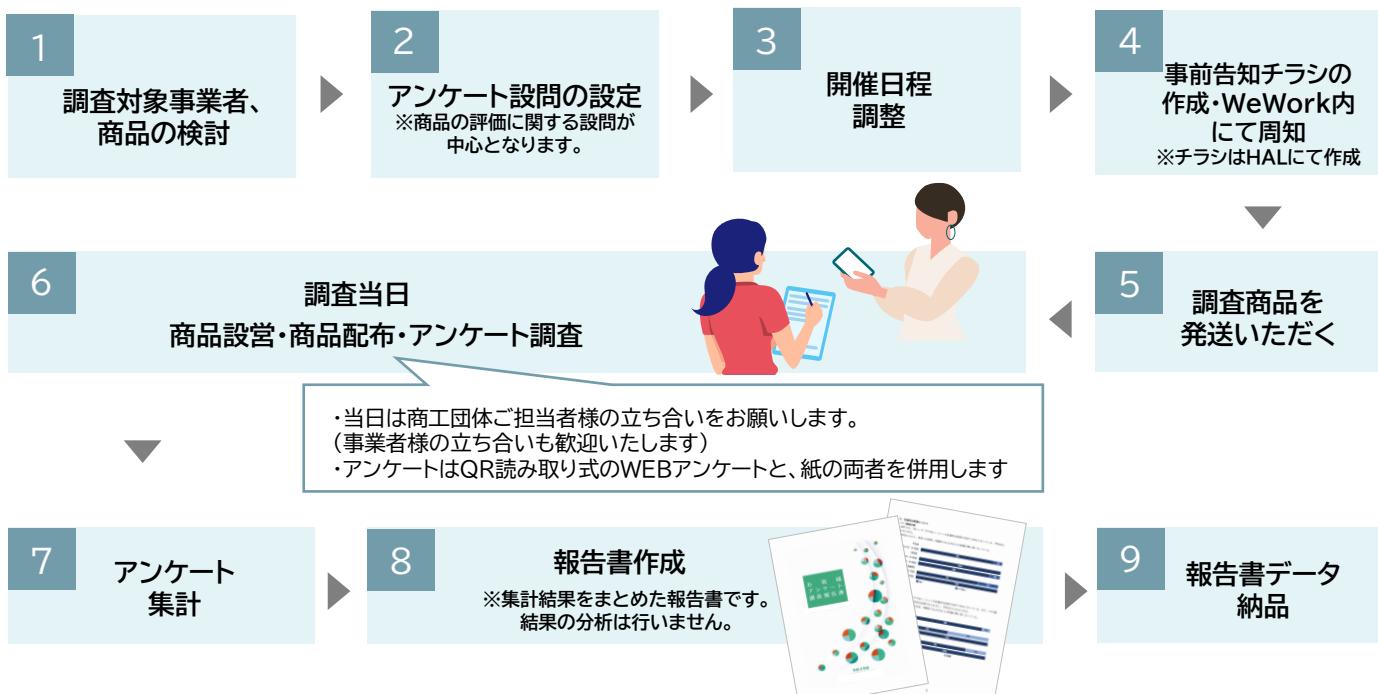
©WeWork

■WeWorkとは？共用エリアとは？さまざまな業種の複数企業が働く、フレキシブルオフィスです。共用エリアでは、常に数十名の各企業の方が自由に働いており、カフェスペースも併設されています。若年層～中年層が中心の企業が多く、共用エリアは常に活気に溢れています。

メリット



サービス詳細／調査実施イメージ



Sharpen more

人を元気に、
企業を元気に、
地域を元気に。

株式会社エイチ・エーエル

〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-18-1 20階
WeWork Hareza池袋

TEL: 050-8883-1919

FAX: 050-8883-1920

e-mail:hal-eigyou@hal-j.co.jp

